# 天久保地区と春日地区における公衆電話の設置状況と 設置場所の「分かりやすさ」

吉倉 智美(地球科学専攻)

#### 1. 目的

本研究では、天久保地区と春日地区における公衆 電話の設置場所を調べ、公衆電話の分布状況と設 置場所の周辺環境から、公衆電話が分かりやすい所 にあるか明らかにする事を目的とする。

#### 2. 対象地域

対象地域は、つくば市の天久保地区(天久保1丁目 ~4丁目)と春日地区(春日1丁目~4丁目)である。

### 3. 研究手法

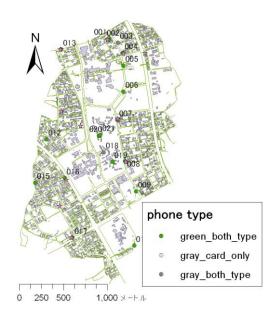
公衆電話の位置をウェイポイントで記録した。その際、 公衆電話の色別に記録をとり、さらに

- ①硬貨・テレホンカードのみ使用可能
- ②テレホンカードのみ使用可能
- ③硬貨のみ使用可能
- の3パターンに分類して記録をとった。

#### 4. 結果・考察

# 1)公衆電話の分布状況

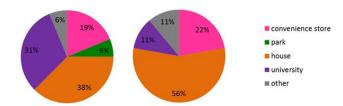
公衆電話の分布図(第1図)より、テレホンカードのみ使用可能な公衆電話は天久保地区に 1 つだけであり、それ以外は全て硬貨・テレホンカードの両方が使用可能なタイプであった。天久保地区に注目してみると、学内では学生宿舎に多く設置されていた。学外



第1図 対象地域における公衆電話の分布状況

では東ループ沿いに多く分布しており、天久保 4 丁目のセブンイレブンを除いた全てのコンビニエンスストアに公衆電話が設置されていた。一方、春日地区に注目してみると、天久保地区に比べて公衆電話の設置数が少なく、公衆電話が設置されていないコンビニエンスストアもあった。

## 2)設置場所周辺の環境



第2図. 公衆電話設置場所の周辺環境

(左:天久保地区、右:春日地区)

公衆電話設置場所から半径 25m 以内の建物や施設といった周辺環境を見ると、両地区とも住宅地が多く、特に春日地区では 50%以上であった。天久保地区では大学施設も多く、コンビニエンスストアは両地区とも 20%前後であった。

#### 3)公衆電話設置場所の「分かりやすさ」

①コンビニに近い、②大きな通り沿いにある(通り沿い)、③大学施設の傍、④公園の傍の 4 つの指標を用いて、各公衆電話の「分かりやすさ」を調べた(表1)。ほとんどの設置場所で「②+①、③、④の内どれか1つ」という組み合わせだったが、春日地区でどの指標も当てはまらない場所が2地点あった。

春日地区における 2 地点と天久保地区におけるテレホンカードのみ使用可能な公衆電話に関しては、改善する必要があると考えられる。

表 1. 各公衆電話における「分かりやすさ」の指標の有無

